

治療審査委員会申請書類

患者ID : 0

患者氏名	0	生年月日	明治33年1月0日	年齢	0	性別	0
診療科	0	区分	☐ 階病棟 ☐ 外来	申請医師名			
診断名				Stage			
告知内容							
治療方法	プロトコール名	オブジーボ+CBDCA+PEM併用療法				告知Grade	
投与計画	身長	0	cm	体重	0	kg	体表面積
							0
							m ²
	血清クレアチニン値			mg/dl	GFR(補正あり)	性別無し	ml/min
	AUC			に設定する			
	「化学療法併用期間」 オブジーボ 360 mg(固定量,d1) カルボプラチン ##### mg(標準量AUC5~6, d1) アリムタ 0 mg(標準量500mg/m² d1) インターバル3週 [投与回数 4コース]				「オブジーボ単独投与」 オブジーボ 360 mg(固定量,d1) インターバル3週 ※PEMによる維持療法も継続可能		
	「点滴内容」 化学療法併用期間の4コース						
	① 生食100ml 本体ルート(終了時に残廃棄)						
	② 生食50ml (オブジーボ用 プライミング・ルートフラッシュに使用)						
	③ オブジーボ 360 mg + 生食100ml 200ml/hr(30分以上かけて)※0.22又は0.22μmフィルター使用						
④ パロノセロン点滴静注バッグ0.75mg/50ml + アロカリス235mg 1V + デキサート6.6mg 1.5V[9.9mg]							
120ml/hr 30分かけて投与							
⑤ アリムタ 0 mg + 生食100ml 600ml/hr(10分)							
⑥ カルボプラチン ##### mg + 生食250ml 250ml/hr							
内服薬							
デカドロン4mg 1回1錠 1日2回 朝昼食後 2~4日目に内服							
化学療法開始1週間前より メチコバル500μg 2A筋注 9週間毎(アリムタ投与終了22日目まで)							
化学療法開始1週間前より パンビタン末 1日1回 朝食後 1回1g(アリムタ投与終了22日目まで)							
「点滴内容」 オブジーボ単独投与(※PEM維持療法を行う場合は③~⑤まで施行)							
① 生食100ml 本体ルート(終了時に残廃棄)							
② オブジーボ 360 mg + 生食100ml 200ml/hr(30分以上かけて)※0.22又は0.22μmフィルター使用							
③ 生食50ml (オブジーボ用 プライミング・ルートフラッシュに使用)							
④ 生食50ml + デキサート(6.6mg) 1V 100ml/hr							
⑤ アリムタ 0 mg + 生食100ml 600ml/hr(10分)							
投与開始日 年 月 日							
併用薬							
B型肝炎check	HBs抗原 () ⇒ HBc抗体 (), HBs抗体 () ⇒ HBV核酸定量 0.9L.IU/ml ()						
重大な副作用	間質性肺炎疾患、重症筋無力症・心筋炎・横紋筋融解症、大腸炎・小腸炎・重度の下痢・消化管穿孔、1型糖尿病 免疫性血小板減少性紫斑病、溶血性貧血、無顆粒球症、劇症肝炎・肝不全・硬化性胆管炎、甲状腺機能障害 静脈血栓塞栓症、結核、肺炎、神経障害、腎障害、脳炎、下垂体機能障害副腎障害、重度の皮膚障害など						
備考	・オブジーボ 0.22又は0.22μmフィルター使用						
採否	☐ 承認 ☐ 再検討 ☐ 不許可						

担当委員署名

許可決定日時 年 月 日 有効期限 年 月 日